



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 新田ゼラチン株式会社

上場取引所 東

コード番号 4977 URL <http://www.nitta-gelatin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾我 憲道

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 佐々木 恒雄 TEL 072-949-5381

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	24,449	14.7	876	△25.7	1,059	△26.6	754	△28.6
25年3月期第3四半期	21,310	—	1,180	—	1,443	—	1,056	—

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 1,451百万円 (15.4%) 25年3月期第3四半期 1,257百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	43.59	—
25年3月期第3四半期	67.02	—

(注)25年3月期第3四半期の連結経営成績(累計)は会計基準等の改正に伴う会計方針の変更による遡及適用後の数値です。

そのため、対前年同四半期増減率についての記載を行っておりません。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	30,625	—	14,069	—	45.5	—
25年3月期	25,190	—	9,724	—	38.0	—

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 13,926百万円 25年3月期 9,577百万円

(注)25年3月期の連結財政状態は、会計基準等の改正に伴う会計方針の変更による遡及適用後の数値です。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	32,300	12.3	1,000	△37.3	1,100	△44.4	700	△54.1	39.87

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

対前期増減率は会計基準等の改正に伴う会計方針の変更による遡及適用後の数値です。

また、当社は、平成25年7月29日を払込期日とする公募増資及び平成25年8月28日を払込期日とする第三者割当増資を実施いたしました。

この結果、1株当たり当期純利益は、公募増資による普通株式2,400,000株及び第三者割当増資203,900株の増加株式を含めて再計算しております。

なお、連結業績予想の修正については、本日(平成26年2月5日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	18,373,974 株	25年3月期	15,770,074 株
26年3月期3Q	162 株	25年3月期	162 株
26年3月期3Q	17,311,862 株	25年3月期3Q	15,769,912 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示に記載の通り、第1四半期連結会計期間より一部の海外関係会社において改訂後のIAS第19号を適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用されているため、前年同期比較にあたっては、会計方針の変更を反映した後の前年同期数値に基づき算出しております。

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、緩やかな回復傾向が続いていますが、米国の財政問題や新興国経済の減速懸念、欧州の財政問題等先行きは不透明な状況が続いています。一方、日本経済は、政府の政策、日本銀行の金融緩和により円安・株高基調で推移し、景気が緩やかに回復していますが、世界経済の下振れ影響が懸念されるなど不透明な状況が続いています。

このような中、当社グループにとっては、ゼラチンなどの製品原材料の価格上昇、日本におけるエネルギーコストの上昇と円安による輸入仕入れコスト上昇など厳しい環境となりました。

このような状況のもと、当社グループは「Amaze the World!!－世界をあっと思わせる会社－」をスローガンとして、「Win out!! in growing Asian market－成長するアジアで勝ち抜く－」を基本戦略に、お客様の期待の一步先を行く製品・サービスの提供、新製品開発、新市場開拓、コスト削減に取り組んでまいりました。

また、十分な設備投資資金の確保と財務体質の改善を目的として、平成25年7月の公募増資と8月の第三者割当増資により、2,603,900株の普通株式発行を行い、総額3,135百万円を調達しています。

この結果、売上高は24,449百万円（前年同期比14.7%増加）と好調に推移しましたが、売上原価の増加を主要因として営業利益は876百万円（前年同期比25.7%減少）、経常利益は1,059百万円（前年同期比26.6%減少）、四半期純利益は754百万円（前年同期比28.6%減少）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①コラーゲン素材事業

ゼラチンは、日本では食用を中心に販売は増加しましたが、世界的な原材料価格の上昇、急激な円安による輸入仕入れ価格の上昇に伴う増加コストの価格転嫁が十分に浸透せず、採算性が低下しました。一方、海外では旺盛な需要を背景にした価格改定により、売上は好調に推移しました。

コラーゲンペプチドは、日本、アジア地域での販売が増加しましたが、原材料価格の上昇により採算性は低下しました。

コラーゲンケーシングは、販売数量は伸び悩みましたが、円安の影響で売上は増加しました。第2四半期連結会計期間に発生したケーシング品質問題は解決しつつありますが、これにより発生した損失はカバーしきれませんでした。

その結果、当該事業の売上高は16,636百万円（前年同期比22.4%増加）、セグメント利益は1,171百万円（前年同期比9.9%減少）となりました。

#### ②フォーミュラソリューション事業

食品材料は、製菓・デザートやハム・ソーセージ用が堅調に推移しましたが、総菜用が低迷し、売上は伸び悩み、積極的な販売プロモーションを行ったことで販売費及び一般管理費が増加し利益は減少しました。

接着剤は、ホットメルト形接着剤が伸び悩み、売上はほぼ横ばいとなり、シーリング材の顧客開拓を強化したため販売費及び一般管理費が増加し利益は減少しました。

その結果、当該事業の売上高は7,812百万円（前年同期比1.2%増加）、セグメント利益は719百万円（前年同期比19.9%減少）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末比5,434百万円増加の30,625百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が59百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が2,793百万円、有形固定資産が1,407百万円、商品及び製品などのたな卸資産が743百万円それぞれ増加したことによるものです。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比1,090百万円増加の16,555百万円となりました。主な要因は、1年内償還予定の社債が200百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が401百万円、短期借入金874百万円、長期借入金（1年以内返済予定を含む）が55百万円それぞれ増加したことによるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比4,344百万円増加の14,069百万円となりました。主な要因は、利益剰余金518百万円の増加と公募増資及び第三者割当増資による普通株式発行により、資本金が1,567百万円、資本剰余金が1,567百万円それぞれ増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の38.0%から45.5%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成25年11月5日に公表しました「平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載した連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成26年2月5日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

一部の海外関係会社において、IAS19号「従業員給付」（平成23年6月16日）を第1四半期連結会計期間より適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の四半期純利益は11百万円減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産残高は累積的影響額が反映されたことにより153百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,278,659	2,219,104
受取手形及び売掛金	5,839,913	8,633,415
商品及び製品	4,404,789	4,825,776
仕掛品	918,045	1,108,549
原材料及び貯蔵品	1,508,837	1,640,478
その他	385,762	582,829
貸倒引当金	△16,176	△14,103
流動資産合計	15,319,831	18,996,049
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,792,208	2,885,065
機械装置及び運搬具（純額）	1,343,676	1,434,302
その他（純額）	2,151,627	3,375,343
有形固定資産合計	6,287,512	7,694,711
無形固定資産		
その他	48,696	46,603
無形固定資産合計	48,696	46,603
投資その他の資産		
投資有価証券	2,768,381	3,198,171
その他	767,704	691,662
貸倒引当金	△1,809	△2,004
投資その他の資産合計	3,534,277	3,887,830
固定資産合計	9,870,486	11,629,144
資産合計	25,190,318	30,625,194

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,736,664	4,138,006
短期借入金	1,145,432	2,020,280
1年内返済予定の長期借入金	2,068,482	2,147,739
1年内償還予定の社債	200,000	—
未払法人税等	81,273	165,251
賞与引当金	220,847	87,388
その他	2,184,378	1,957,441
流動負債合計	9,637,079	10,516,108
固定負債		
長期借入金	3,142,014	3,118,335
退職給付引当金	2,276,795	2,321,188
役員退職慰労引当金	35,422	36,247
その他	374,344	563,851
固定負債合計	5,828,575	6,039,622
負債合計	15,465,655	16,555,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,577,121	3,144,929
資本剰余金	1,398,633	2,966,442
利益剰余金	8,194,375	8,712,595
自己株式	△68	△68
株主資本合計	11,170,062	14,823,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	499,868	732,760
繰延ヘッジ損益	27,858	7,560
為替換算調整勘定	△667,634	△122,170
在外子会社の年金債務調整額	△1,452,870	△1,516,045
その他の包括利益累計額合計	△1,592,778	△897,895
少数株主持分	147,379	143,459
純資産合計	9,724,663	14,069,462
負債純資産合計	25,190,318	30,625,194



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	21,310,129	24,449,332
売上原価	16,376,575	19,551,097
売上総利益	4,933,553	4,898,234
販売費及び一般管理費	3,752,619	4,021,373
営業利益	1,180,933	876,860
営業外収益		
受取利息	673	4,478
受取配当金	18,856	19,268
為替差益	63,868	178,701
持分法による投資利益	238,158	69,309
その他	75,944	58,548
営業外収益合計	397,500	330,306
営業外費用		
支払利息	112,977	107,601
株式公開費用	—	23,385
その他	21,870	16,875
営業外費用合計	134,847	147,862
経常利益	1,443,586	1,059,304
特別利益		
固定資産売却益	15,701	—
受取補償金	—	88,393
特別利益合計	15,701	88,393
特別損失		
固定資産除却損	9,165	15,802
投資有価証券評価損	15,177	—
特別損失合計	24,343	15,802
税金等調整前四半期純利益	1,434,944	1,131,896
法人税等	374,412	387,177
少数株主損益調整前四半期純利益	1,060,531	744,718
少数株主利益又は少数株主損失(△)	3,657	△9,903
四半期純利益	1,056,873	754,622

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,060,531	744,718
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,229	232,973
繰延ヘッジ損益	16,103	△12,022
為替換算調整勘定	230,291	543,252
在外子会社の年金債務調整額	△29,831	△63,174
持分法適用会社に対する持分相当額	2,016	5,716
その他の包括利益合計	197,350	706,746
四半期包括利益	1,257,881	1,451,465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,255,065	1,449,505
少数株主に係る四半期包括利益	2,816	1,959

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年7月29日を払込期日とする公募増資及び平成25年8月28日を払込期日とする第三者割当増資を実施いたしました。この結果、第2四半期連結会計期間において資本金が1,567,808千円、資本剰余金が1,567,808千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,144,929千円、資本剰余金が2,966,442千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	コラーゲン 素材事業	フォーミュラ ソリューション 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	13,587,569	7,722,559	21,310,129	—	21,310,129
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,002,929	—	1,002,929	△1,002,929	—
計	14,590,498	7,722,559	22,313,058	△1,002,929	21,310,129
セグメント利益	1,300,201	897,393	2,197,594	△1,016,660	1,180,933

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,016,660千円には、セグメント間取引消去2,281千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,018,941千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	コラーゲン 素材事業	フォーミュラ ソリューション 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	16,636,438	7,812,893	24,449,332	—	24,449,332
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,101,271	—	1,101,271	△1,101,271	—
計	17,737,710	7,812,893	25,550,604	△1,101,271	24,449,332
セグメント利益	1,171,494	719,181	1,890,675	△1,013,814	876,860

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,013,814千円には、セグメント間取引消去2,394千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,016,208千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

一部の海外関係会社において、IAS第19号「従業員給付」(平成23年6月16日)を第1四半期連結会計期間より適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第3四半期連結累計期間については遡及適用後の四半期連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間におけるコラーゲン素材事業のセグメント利益は14,998千円減少しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。